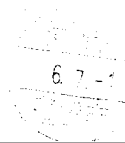


60-15

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

(第1面)



特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 7月 29日

豊 田 市 長 殿

提出者

住 所 愛知県豊田市藤岡飯野町大川ヶ原1141-1

氏 名 アイシン化工株式会社

取締役社長 杉浦 剛寅

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0565-76-7546

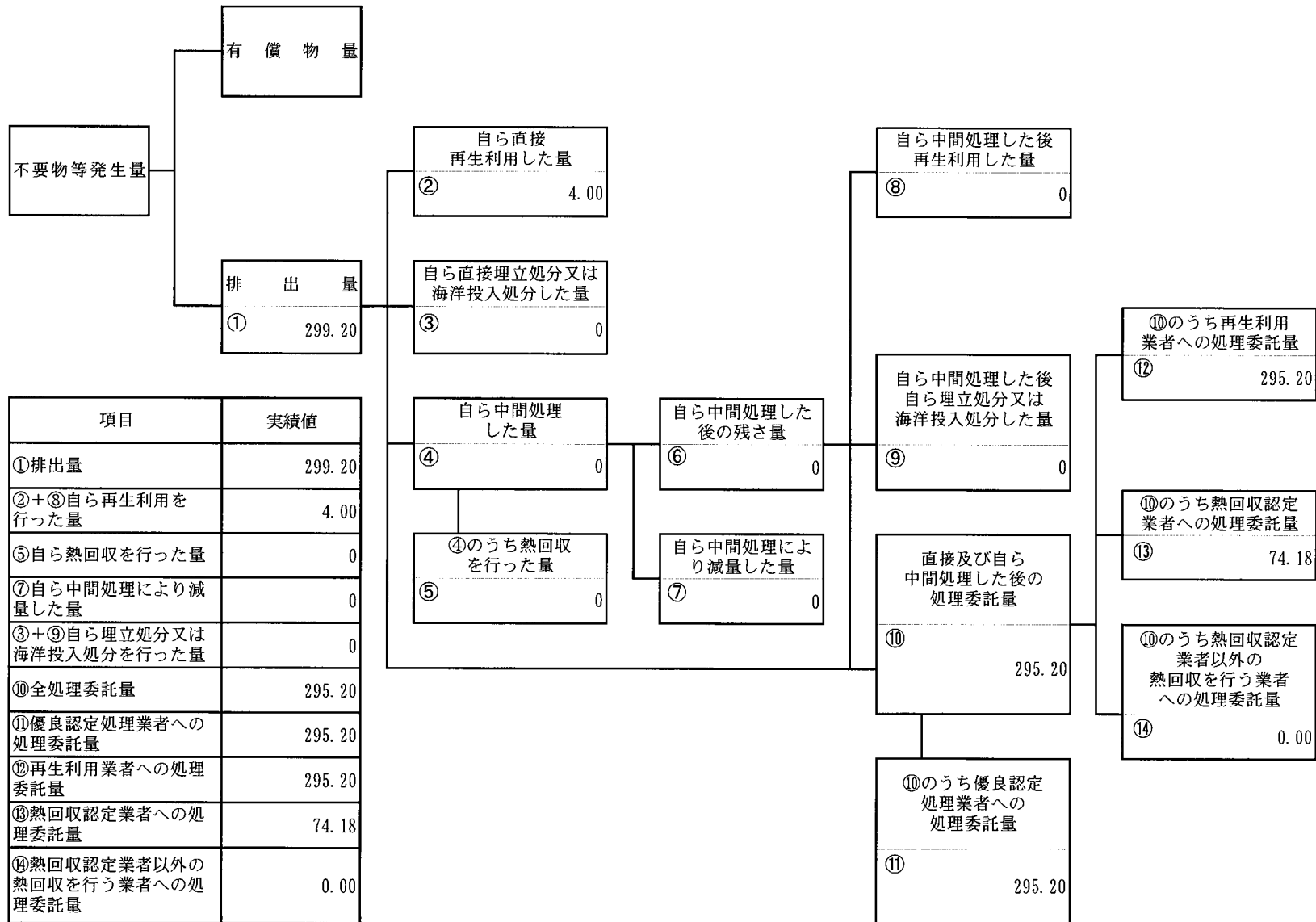
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和4年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	アイシン化工株式会社		
事業場の所在地	愛知県豊田市藤岡飯野町大川ヶ原1141番地1		
事業の種類	31 輸送用機械器具製造業		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	262.6 t	全処理委託量	262.6 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	4.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	262.6 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	262.6 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	76.3 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	18.8 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

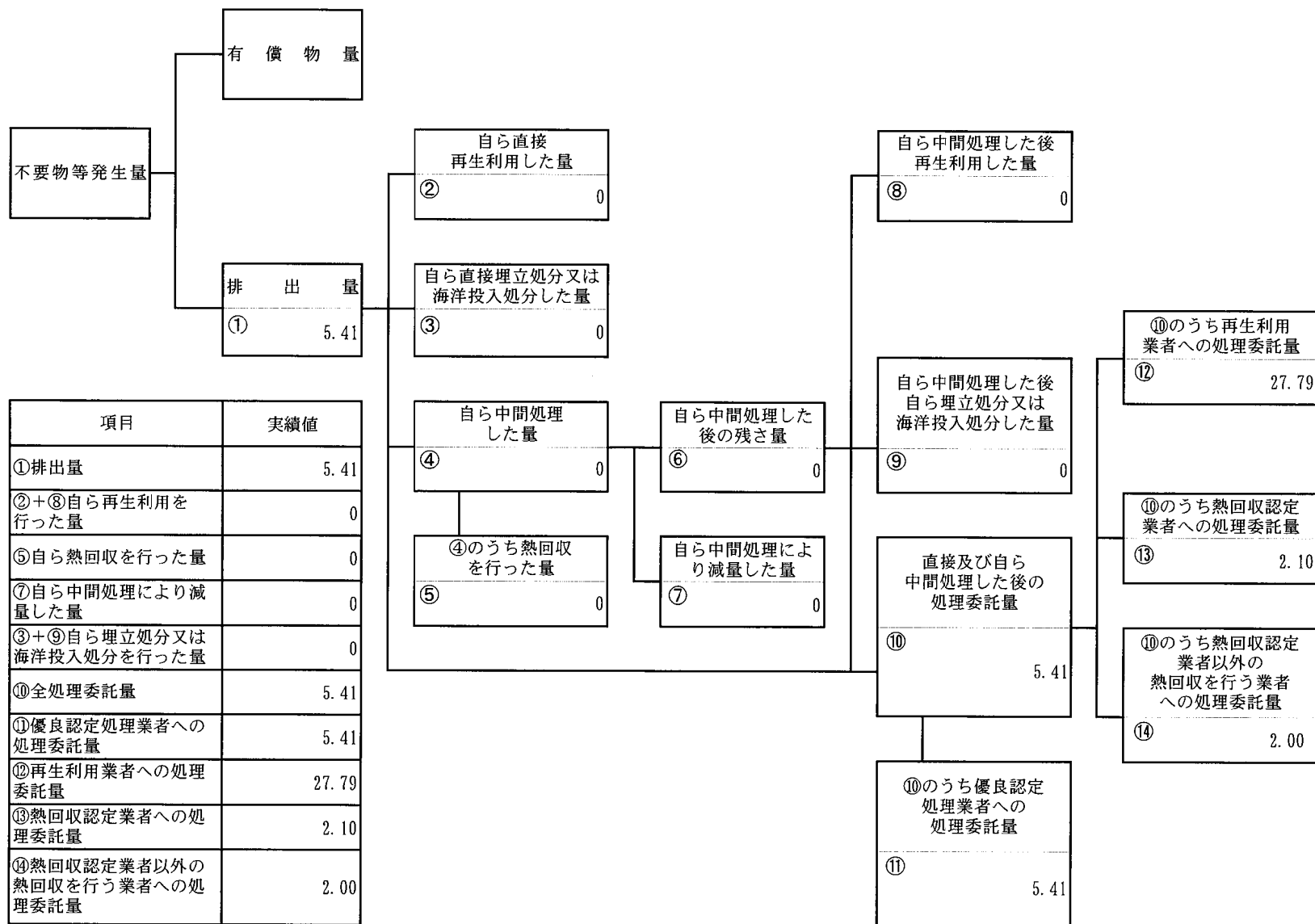
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 引火性廃油)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 腐食性廃酸)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれにから(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前(
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、5の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

付表1

◇産業廃棄物の一連の処理の工程

廃棄物の種類	名称	処理方法
ガラス・陶磁器くず	廃ガラスビン屑	中間処理業者に委託して選別後、最終処分業者にて管理型埋立
	廃蛍光灯 (水銀使用製品産業廃棄物)	中間処理業者に委託して破碎後、最終処分業者にてリサイクル(水銀、ガラス部分)
金属くず	廃乾電池 (水銀使用製品産業廃棄物)	中間処理業者に委託して選別後、最終処分業者にて再生リサイクル(水銀、亜鉛原料、鉄くず)
	廃リチウム電池 (水銀使用製品産業廃棄物)	中間処理業者に委託して選別後、最終処分業者にて再生リサイクル(水銀、亜鉛原料、鉄くず)
汚泥	予備成形屑	中間処理業者に委託して焼却後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
	集塵粉、 廃ガラス研磨粉	中間処理業者に委託して分級した後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
	集塵粉、混合材	中間処理業者にて焼却、鉄鋼原料にリサイクル
	集塵粉、混合材、 塩ビ塗料カス	中間処理業者に委託して焼却後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
	予備成形屑、 集塵粉、混合材	中間処理業者に委託してコンクリート固化後、最終処分業者にて管理型埋立
	廃水汚泥、 中和処理汚泥、 バレル汚泥	中間処理業者に委託して乾燥後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
	食堂配管清掃油泥	中間処理業者に委託して焼却後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
	その他汚泥	中間処理業者に委託して混練又は分級した後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
		中間処理業者に委託して焼却後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
廃プラスチック類	油付フィルター、 リン酸付きフィルター、 リン酸付きコンテナ	中間処理業者に委託して焼却後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
	フェーシングクラッチ屑	中間処理業者にて焼却後、鉄鋼原料にリサイクル
	発泡スチロール ビニール類、 含浸紙、 廃ブラ樹脂屑、 廃ブラ金属付、 油付ビニール	中間処理業者に委託して圧縮固化した後、鉄鋼メーカーにて鉄鋼原料にリサイクル
	その他 廃プラスチック類	中間処理業者に委託して焼却後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
廃油	ドラム廃水C	中間処理業者に委託してエマルジョン燃料化後、セメント会社に燃料として有償売却(リサイクル)
	塗料カス	中間処理業者に委託して焼却後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
	ドラム廃水B 廃油、油泥	中間処理業者に委託して油水分離した後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
	その他廃油	中間処理業者に委託して焼却後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
木くず	木くず(木パレット)	中間処理業者に委託して破碎した後、ボイラー用燃料として有償売却(リサイクル)
廃酸	廃酸	中間処理業者に委託して焼却後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)
廃アルカリ	廃アルカリ	中間処理業者に委託して中和・焼却処理した後、最終処分業者にて焼却、セメント原料化(リサイクル)

付表2

(第2面)

◇産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

◇特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

廃棄物の種類	排出量	
	①現状	②計画
ガラス・陶磁器くず	1.50t	1.7t
金属くず	0.51t	0.6t
汚泥	868.23t	977.4t
廃プラスチック類	387.26t	435.9t
廃油	376.57t	423.9t
木くず	9.49t	10.7t
廃酸	0.00t	0.0t
廃アルカリ	26.35t	29.7t
産業廃棄物合計	1,669.91t	1,879.8t
引火性廃油	277.48t	312.4t
腐食性廃酸	36.90t	41.5t
特別管理産業廃棄物合計	314.38t	353.9t
合計	1,984.29t	2,233.7t

付表3

(第3面)

◇自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

◇自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	①現状	②計画
ガラス・陶磁器くず	0t	0t
金属くず	0t	0t
汚泥	0t	0t
廃プラスチック類	38.00t	38.00t
廃油	0t	0t
木くず	0t	0t
廃アルカリ	0t	0t
産業廃棄物合計	38.00t	38.0t
引火性廃油	4.00t	4.00t
腐食性廃酸	0t	0t
PCB汚染物等	0t	0t
特別管理産業廃棄物合計	4.00t	4.0t
合計	42.00t	42.0t

付表4

(第3面)

◇自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

◇自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

廃棄物の種類	①現状	
	自ら熱回収を行なった 産業廃棄物の量	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量
ガラス・陶磁器くず	0t	0t
金属くず	0t	0t
汚泥	0t	620.83t
廃プラスチック類	0t	0t
廃油	0t	7.20t
木くず	0t	0t
廃アルカリ	0t	7.00t
産業廃棄物合計	0t	635.03t
引火性廃油	0t	0t
腐食性廃酸	0t	0t
PCB汚染物等	0t	0t
特別管理産業廃棄物合計	0t	0t
合計	0t	635.03t

廃棄物の種類	②計画	
	自ら熱回収を行なう 産業廃棄物の量	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量
ガラス・陶磁器くず	0t	0t
金属くず	0t	0t
汚泥	0t	699.1t
廃プラスチック類	0t	0t
廃油	0t	8.1t
木くず	0t	0t
廃アルカリ	0t	7.9t
産業廃棄物合計	0t	715.0t
引火性廃油	0t	0t
腐食性廃酸	0t	0t
PCB汚染物等	0t	0t
特別管理産業廃棄物合計	0t	0t
合計	0t	715.0t

付表5

(第4面)

◇自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

◇自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

廃棄物の種類	①現状
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
ガラス・陶磁器くず	2t
金属くず	1t
汚泥	868t
廃プラスチック類	387t
廃油	377t
木くず	9t
廃アルカリ	0t
産業廃棄物合計	1644t
引火性廃油	0t
腐食性廃酸	277t
PCB汚染物等	37t
特別管理産業廃棄物合計	277t
合計	1921t

廃棄物の種類	②計画
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
ガラス・陶磁器くず	0t
金属くず	0t
汚泥	0t
廃プラスチック類	0t
廃油	0t
木くず	0t
廃アルカリ	0t
産業廃棄物合計	0t
引火性廃油	0t
腐食性廃酸	0t
PCB汚染物等	0t
特別管理産業廃棄物合計	0t
合計	0t

付表6

(第4面)

◇産業廃棄物の処理の委託に関する事項

◇特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状【前年度(R4年度)実績】					
廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
ガラス・陶磁器くず	4.80t	4.80t	0.00t	0t	0t
金属くず	0.10t	0.10t	0.10t	0t	0t
汚泥	1,006.56t	698.23t	1,005.19t	68.29t	68.12t
廃プラスチック類	367.26t	367.26t	367.26t	1.82t	22.75t
廃油	362.68t	355.48t	355.48t	6.47t	221.43t
木くず	12.89t	12.89t	12.89t	0t	0t
廃酸	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0t
廃アルカリ	26.35t	19.35t	18.90t	0.46t	0t
産業廃棄物合計	1,780.64t	1,458.11t	1,759.82t	77.04t	312.30t
引火性廃油	234.78t	234.78t	234.78t	74.18t	0.00t
腐食性廃酸	27.79t	27.79t	27.79t	2.10t	18.80t
特別管理産業廃棄物合計	262.57t	262.57t	262.57t	76.28t	.
合計	2,043.21t	1,720.68t	2,022.39t	153.32t	#VALUE!

②計画【(R5年度)目標】					
廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
ガラス・陶磁器くず	5.4t	5.4t	0.0t	0.0t	0.0t
金属くず	0.1t	0.1t	0.1t	0.0t	0.0t
汚泥	1133.4t	1133.4t	1131.8t	76.9t	76.7t
廃プラスチック類	413.5t	413.5t	413.5t	2.0t	25.6t
廃油	408.4t	408.4t	400.3t	7.3t	249.3t
木くず	14.5t	14.5t	14.5t	0.0t	0.0t
廃アルカリ	29.7t	22.7t	21.3t	0.5t	0.0t
産業廃棄物合計	2,005.0t	1,998.0t	1,981.6t	86.7t	351.6t
引火性廃油	264.4t	264.4t	264.4t	83.5t	0.0t
腐食性廃酸	31.3t	31.3t	31.3t	2.4t	21.2t
特別管理産業廃棄物合計	295.7t	295.7t	295.7t	85.9t	21.2t
合計	2,300.7t	2,293.7t	2,277.2t	172.6t	372.8t

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン化工株式会社	従業員数 (人)	1,195	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	総務・安全環境部 環境 G 三木 武起	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	TEL : 0565-76-7546 FAX : 0565-76-1101 E-mail : T.miki@aisin-chem.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	4,660,000	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		引火性廃油	引火性廃油	引火性廃油	引火性廃油	引火性廃油
項目		塗料カス	塗料カス	廃塗料	廃塗料	廃メタノール
前年度計画の実施状況 (R2年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	0	0	0	0	57
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)					57
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)					0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)					0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)					57
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)					57
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	57
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	E () (エマルジョン燃料化)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	0	2
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	55
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)					55
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)					2
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)					0

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)
 3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。
 5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン化工株式会社	従業員数 (人)	1,195	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	総務・安全環境部 環境 G 三木 武起	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	TEL : 0565-76-7546 FAX : 0565-76-1101 E-mail : T.miki@aisin-chem.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	4,660,000	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	引火性廃油	引火性廃油	引火性廃油	引火性廃油	引火性廃油
		廃メタノール	廃メタノール	廃シンナー	引火性廃油	引火性廃油
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (R2 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	0	0	73	147	0
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)			73	147	0
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	4	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)			0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)			0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)			69	147	0
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)			69	147	0
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0	0	69	147	0
	処理方法	A・B・C・D E (混合)	A・B・C・D E ()	E (イラジオン燃料化)	A・B・C・D E ()	E (イラジオン燃料化)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	140	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	69	7	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)			73	7	0
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)			0	140	0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)			0	0	0

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
2 再生利用用途コード A : 原料・材料 B : 燃料 C : 飼料・肥料 D : 建設材料 E : その他 (具体的に記載)
3 処理方法コード A : 焼却・溶融 B : 脱水・乾燥 C : 破碎・圧縮 D : 中和 E : その他 (具体的に記載)
4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。
5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン化工株式会社	従業員数 (人)	1,195	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	総務・安全環境部 環境 G 三木 武起	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	TEL : 0565-76-7546 FAX : 0565-76-1101 E-mail : T.miki@aisin-chem.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	4,660,000	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		腐食性廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸	特管
項目		廃リン酸	廃リン酸	廃リン酸	腐食性廃酸	合計
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (R2 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	15	3	0	0	295
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	15	3		0	295
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	4
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0		0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0		0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	15	3		0	291
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	15	3		0	291
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
	f 委託中間処理量 (t/年)	15	3	0	0	291
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	14	2	0	0	158
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	1	0	0	0	133
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)		1	0		0	137
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)		14	2		0	158
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)		0	0		0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン化工株式会社	従業員数(人)	1,195	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	総務・安全環境部 環境 G 三木 武起	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	TEL: 0565-76-7546 FAX: 0565-76-1101 E-mail: T.miki@aisin-chem.co.jp	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	4,660,000	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		腐食性廃酸	金属くず	廃プラスチック類	廃油	紙くず
項目		ACリソ酸(有価)	鉄くず他(有価)	PA材他(有価)	廃油(有価)	ダンボール(有価)
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (R2 年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	19	2,119	133	37	59
	b 有償物量(t/年)	19	2,119	133	37	59
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	0	0	0	0	0
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	0	0	0	0	0
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	0	0	0	0	0
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	0	0	0	0	0
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	0	0
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン化工株式会社	従業員数 (人)	1,195	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	総務・安全環境部 環境 G 三木 武起	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	TEL : 0565-76-7546 FAX : 0565-76-1101 E-mail : T.miki@aisin-chem.co.jp	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	4,660,000	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		引火性廃油				
項目		廃MEK (有価)				
前年度計画の実施状況 (R2年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	28				
	b 有償物量 (t/年)	28				
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	0				
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0				
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0				
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	0				
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	0				
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	0				
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0				
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0				

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)
 3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。
 5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。